

## 今後の検討事項について

### 1 主な検討項目

#### (1) 環境保全対策

焼却施設から発生する排ガス，排水，騒音，振動，悪臭等については，法令等により規制されており，対策を講ずる必要がある。

##### ア 排ガス

焼却施設から発生するばいじん，硫黄酸化物，窒素酸化物，塩化水素，ダイオキシン類等について，大気汚染防止法，ダイオキシン類対策特別措置法等により，大気への排出濃度が厳しく規制されている。

##### 【基本的な考え方】

現在の日乃出清掃工場の維持管理状況を踏まえながら，経済性も考慮し，適切な基準値の設定等を検討する。

##### イ 排水

焼却施設から発生する排水については，公共下水道または河川へ放流とする方法等があり，水質汚濁防止法等によって，規制値が設定されている。

##### 【基本的な考え方】

現在の公共下水道への放流を継続する。

##### ウ 騒音，振動，悪臭等

焼却施設から発生する騒音，振動，悪臭等については，騒音規制法，悪臭防止法等により，規制値が設定されている。

##### 【基本的な考え方】

現在の日乃出清掃工場の維持管理状況を踏まえながら，経済性も考慮し，適切な対策を検討する。



## イ 事業手法

廃棄物処理施設の整備・運営について、公設公営のほか、近年、PFI、DBO等公共と民間が共同して公共サービスの効率化・高質化を図る新しい官民協力の形態による事業手法が採用されている。

本市施設の整備・運営に関し、相応しい事業手法について比較検討を行う。

## ウ 財政計画

一般廃棄物処理施設整備に係る国の「循環型社会形成推進交付金制度」を活用し、国交付金、地方債、単独費を見込むこととする。

## エ 周知，啓発

事業の進捗状況をホームページ等で公表し、情報発信を行う。また、効果的な啓発手法の検討を行う。

## (5) その他のごみ処理施設

破碎選別処理施設，最終処分場および資源化施設（リサイクルセンター，函館プラスチック処理センター）のあり方について検討する。

## 2 今後の計画検討委員会のスケジュール（案）

開催回数	検討事項等
第8回 (H29. 6予定)	・環境保全対策について ・エネルギー利用方策について ・生活環境影響調査について ・事業スケジュール，事業手法等について ・その他のごみ処理施設について
第9回 (H29. 7予定)	
第10回 (H29. 8予定)	・検討結果のとりまとめ(素案)について
第11回 (H29. 9予定)	・検討結果のとりまとめ(案)について